

平成23年度
実施事業

平成24年度作成

事務事業名	交通安全協会交付金
-------	-----------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	3	交通安全の推進
小分類	1	交通安全意識の高揚
主要な施策	1	交通安全に関する意識啓発の強化
事務事業番号	002	事業開始年度 昭和 - 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要 《Plan・Do》

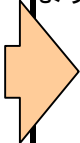
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	交通安全の啓発活動等を行う交通安全協会の活動を支援することにより、市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	指導教育活動や広報活動などの活動を行う交通安全協会を支援した。 【協会の主な事業】 交通安全市民運動の推進 交通安全教育広報活動の推進 主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導 高齢者に対する交通安全思想の普及
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	交通事故件数が減少しているものの交通死亡事故が発生していることから、今後においても、市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図るため、交通安全協会の活動を支援する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	・交通安全対策基本法 ・北海道交通安全基本条例 ・登別市交通安全条例

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
事業費 合計			4,300	4,300	4,300	4,300	4,300

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	市内の交通死亡事故件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	1	1			
	市内の交通事故件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	182	143			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>交通安全啓発等を行う交通安全協会を支援することにより、交通事故防止を図っているが、さらなる交通事故の減少を図らなければならない。</p> <p>平成22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故件数 182件 ・交通死亡事故件数 1件 		
	<p>交通事故の減少を図るため、今後についても交通安全協会を支援して、継続した交通安全啓発等を行うことにより、交通事故の減少を図ることとする。</p> <p>平成23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故件数 143件 ・交通死亡事故件数 1件 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？		市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市民を交通災害から守る交通安全協会の円滑な運営と健全な発展を図るため、市が交通安全協会を支援することは妥当である。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？		市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 安全に安心して暮らせることができるまちづくりを推進するために必要である。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？		低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 交通安全協会が円滑で健全な発展を図るためには、最低限のコストである。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？		成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 市民の安全を守るため幼児から高齢者までの交通安全教育・啓発などを実施し、運転者及び歩行者に対する交通安全意識をより浸透させ、市内の交通事故発生件数が前年と比較し減少している。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 交通事故防止は、市民一人ひとりが交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させることが重要であり、市と一体となり実践してきた交通安全啓発や各種街頭啓発が市民に浸透し、交通事故発生件数や交通事故傷者数の減少につながっていることから、継続して支援することが必要である。
----	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----